

聴解原文

問題 1

1 番

アパートで女のひとと管理人が話しています。女の人は壊れたパソコンをどうしますか。

女：すみません。管理人さん、壊れたパソコンは、粗大ごみの申し込みをして、アパートの指定の場所に出せば、収集してくれるんですけど。薄いノートパソコンなんですけど。

男：パソコンはメーカーに回収してもらおうか、パソコンを買ったお店に持っていかないと、粗大ごみとして出せないんでね。

女：そうなんですか。十何年も前のものなので、どこで買ったか……

男：でしたら、メーカーに連絡すれば、専用の伝票を送ってくれますから、それを梱包したパソコンに貼って、郵送すればいいんですよ。

女：意外と簡単な手続きなんですね。

男：大きい自治体だと、市役所とか公共施設に回収箱が設置されていて、そこに入ればパソコンも回収してくれるんですけど。この地域はないですよ。

女：そうですか。

女の人は壊れたパソコンをどうしますか。

2 番

会社で部長と事務の女のひとが話しています。女の人はこの後、何をしなければなりませんか。

男：ちょっといいかな、北山食品からのプラスチック容器の注文のことなんですけど、この請求書を作成したのって。

女：ああ、部長、作ったのは私です。何か間違いがありましたか。

男：いいや、これ、中村君に頼まれて作成したんだよね。営業担当は中村君だから。

女：はい。

男：注文の数がこれまでよりずいぶん減ってるから、その理由が知りたいんだけど、中村君外出中みたいで、何か聞いてない？

女：いいえ、何も。

男：そうか。悪いけど、わたし今から会議だから、中村君戻ったらこの件について、わたしのところに説明にくるよう伝えといてもらえるかな。5時には会議終わって戻るから。特に報告受けてなかったものだから、気になっちゃってね。

女：わかりました。

女の人はこの後、何をしなければなりませんか。

3 番

日本語のクラスで先生が留学生に話しています。留学生は主に商店街の何についてインタビューのプランを立てますか。

女：来週の授業では、さくら商店街にいて、グループごとに二軒ずつ古くから続く商店を回って、お店の人にインタビューをします。ええ、さくら商店街は最近では魚のコロッケなどの人気商品で知られ、新しいことに次々とチャレンジしていますが、県内で最も長く続く商店街なんです。そこで商店街全体がこれまでどのように困難を乗り越え、変化、発展してきたのか、話を伺います。今日はこのテーマに基づいてグループごとにインタビューのプランを立てましょう。今から、各グループに店のリストを配ります。

留学生は主に商店街の何についてインタビューのプランを立

てますか。

4 番

大学の事務所で学生と事務所のひとが話しています。学生はこの後、まず何をしますか。

男：すみません。先週インフルエンザで経済学の学期末試験を休んでしまったんですが。病気の場合は、もう一度試験が受けられると聞きまして。

女：経済学は西山先生ですね。まずは先生に試験が受けられるか確認して、受けられるということなら、こちらの申請書を書いて、医師の診断書と一緒に出示してください。申請、今日までだから、急いで西山先生に確認してくださいね。

男：あつ、先生には許可をいただきました。あのう、診断書が必要って知らなくて、病院でもらって来なかったんですけど。

女：病気の場合は診断書がないと……

男：今日は病院が休みで。明日書いてもらって必ず持ってきますので。

女：ううん、仕方ないですね。じゃあ、今日は申請書だけで、試験の詳細は来週掲示板に出ますから、自分で確認するようにしてくださいね。

男：はい、ありがとうございます。

学生はこの後、まず何をしますか。

5 番

男のひとと女のひとが話しています。女の人は、パーティーの日に何をしますか。

男：山下さん、来月、松田君の結婚パーティーをレストランでやることになったんですけど、手伝ってくれない。

女：もちろん。なんでも言って。

男：ありがとう、じゃあ、受付をお願いできないかな。会費制でやるから、会費の受け取りをしてほしいんだけど。

女：わかった。

男：ねえ、もう一つ、会場の音楽担当か、ビデオ撮影の担当も頼めない？音楽係は事前に松田君と相談して曲を選んで、当日かけてほしいんだ。ダンスの曲とか。撮影係は動画の編集までやってもらいたいんだけど。

女：わたし、動画作るの、得意。

男：本当。じゃあ、決まりだね。だけど、受付お願いするとなると、時間ギリギリに来場する人がいたら、撮影開始が遅れちゃうか。カメラを最初だけほかの人に任せるとしても、なんか慌ただしいしな。やっぱり、山下さんには受付やめて、会場の飾り付けグループに入ってもらおうかな。当日2時間前に来られる？

女：うん、大丈夫。

男：じゃあ、係をふたつお願いすることになるけど、よろしくね。

女の人は、パーティーの日に何をしますか。

問題 2

1 番

大学で、女の学生と男の学生が卒業論文について話しています。男の学生は女の学生にどんな方法を勧めましたか。

女：卒業論文もう始めなきゃ間に合わないのに、なかなか取り掛かる気になれなくて。

男：僕は先月から始めたけど、やっぱり始めるまでに時間かかったよ。とりあえず資料を集めるとか、簡単なことからやってみれば？そうするうちに、だんだん集中してくると思うよ。

女：そっか、まずはやるべきことがイメージできるよう、長期的な計画を立ててみようかなと思ってたけど。私の場合、それで満足して終わっちゃいそうだから、そのほうがいいかも。

男：去年卒業した先輩からは、いい論文が書けたっていう成功をイメージするといいてアドバイスを受けたけど、完成まであまりに遠いから、イメージしづらくてね。

女：確かにね。なんか相談したらやる気出てきた。少し進んだら報告するから。また相談に乗ってね。

男の学生は女の学生にどんな方法を勧めましたか。

2 番

女のひとと男のひとが就職試験の結果について話しています。男のひとはどうして合格した会社に入らないと言っていますか。

女：先週、就職試験の最終面接だったでしょう。結果、どだった？

男：採用通知ももらったよ。でも、辞退することにしたんだ。

女：せっかく合格したのに？

男：うん、自分の専門が生かせそうな会社だったんだけど、入社後三年以内に少なくとも五年は東京じゃなくて、地方の支店に転勤してもらうことになるだろうって、面接で言われて、家庭の事情もあって、東京勤務以外は考えられないんだ。

女：そっか。

男：オフィスを見学したとき、活気があって、雰囲気も自分に合いそうだったから、すごく悩んだんだけど。提示された給料も自分の予想を超えてたしね、結局悩んだ末、辞退することにしたんだ。専門が生かせる仕事はほかにもあると思うから、頑張って他を探してみるよ。

男のひとはどうして合格した会社に入らないと言っていますか。

3 番

会社で、男のひとと女のひとが防災について話しています。女のひとは自分の家では、今後何を必要があると言っていますか。

男：この間、家族で防災センターに見学に行ったんですけど、もしもの時、家は何も準備ができてないなって思っ。災害への備え、何かしてますか。

女：うちは本棚とか、冷蔵庫とか家具が倒れないように固定したり、それから、家族で近くの避難所まで安全な行き方を確認しながら行ってみたり。

男：防災意識高いですね。

女：まあ、そうですね。非常時にどうやって連絡取り合うかも家族で話して決めてありますし。携帯電話がつながりにくくなることあるって聞いて。

男：うちなんて、食料と飲料を常備してるぐらいですよ。

女：それも大事ですよ。うちもやってはいるですけど、家族で三日分ぐらいしかなくて。一週間分は置いとかなきゃって思ってるんです。

男：そうですか。うちももう少し家族で意識高めないとなあ。

女のひとは自分の家では、今後何を必要があると言っていますか。

4 番

女の学生と男の学生が話しています。女の学生は交渉について、授業でどんなことを習ったと言っていますか。

女：今日、経済学の授業で、交渉について習ったんだ。

男：交渉って、自分の希望通りにいように、相手と話をするあの交渉？買い物で値引きしてもらう時なんかの？

女：そう。特に値引き交渉なんかはどうやってこっちの思い通りになるかって、相手を負かそうとするでしょう。でもね、ちゃんとお互いの利益になるよう歩み寄って、交渉を通して、より高い価値を生み出すっていうが賢い交渉なんだって。

男：へえ。

女：お互いが得をするようなやり方が望ましいってこと。もちろん互いに譲れない交渉となると、厳しいやり取りが求められると思うけどね。

女の学生は交渉について、授業でどんなことを習ったと言っていますか。

5 番

セミナーで専門家が話しています。専門家はサービスについて、どのようにしていく必要があると言っていますか。

女：これまで製造業においては、物を作り出す技術、あるいは生産性を高めるための様々な研究が進められてきました。一方、サービスについてはどうでしょう。今だ経験や勘に頼るところが大きく、例えば、サービスの質と価格の関係をデータから分析したり、効果を測定し評価するなど、科学的なアプローチによる研究が十分に行われてきたとは言えません。サービス業は国内で労働者の6割が従事し、大きな利益を生んでいる重要な産業なので、その必要性を強く感じるわけです。

専門家はサービスについて、どのようにしていく必要があると言っていますか。

問題 3

1 番

テレビでレポーターが男の人にインタビューをしています。

女：私は今アニメのイベント会場にきています。こちらのイベントを毎年開催している山本さんにお話を伺います。

男：このイベントでは新作アニメの紹介やアニメグッズの販売、ゲーム、コンサートなどを行っています。年に一度のこの機会にぜひ、新たなお気に入りのアニメを見つけたり、ファン同士の交流を深めたりして、皆さんに楽しんでもらいたと思います。日本のアニメは海外でも人気で、アニメファンはもちろんですが、友達にこのイベントに連れて来られて興味を持つようになったという外国の方も多いです。

女：そうですか。

男：アニメを通して、日本のことをもっと知って、好きになってもらいたいの、このイベントがそういうきっかけになるように思っています。

男のひとは何について話していますか。

1. このイベントを開催する目的
2. このイベントで一番人気のコーナー
3. このイベントを外国で行う計画
4. このイベントを始めたきっかけ

2 番

ラジオで女のひとが話しています。

女：ある高齢者介護施設では、わざと施設内に階段や段差を設置しているそうです。えっと思われるかもしれませんが、あえて不便にすることで、体力や体の機能の低下を防ごうとするものなんです。パソコンの普及で漢字が書けなくなったなんてよく聞きますが、昔は何でも手書きで手間はかかるけど、おかげで漢字を忘れずに済んだわけですよ。そういえば、先日うちの掃除機が

壊れて、家中箒で掃いたんですけど、日ごろの運動不足が解消された気が……これも同じことかなあ。

女の人が言いたいことは何ですか。

1. 介護には苦勞が多い
2. 不便さにも利点がある
3. 生活はもっと便利になる
4. お年寄りの知恵は素晴らしい

3 番

テレビで動物園の職員が話しています。

男：動物園という、一般的には、遠足やデートなどで訪れるレクリエーションの場というイメージをお持ちかもしれません。動物の生態や自然環境について学ぶ機会を提供する場でもあるんです。また、近年、自然環境の悪化などにより、野生動物の生活範囲が狭くなってきていて、住む場所を失ったり、数が著しく減少してしまったりしている動物たちがいます。動物園には、そうした動物を保護し、守るという一面もあるんです。

職員は何について話していますか。

1. 動物園の抱える問題点
2. 動物園の設備の改善
3. 動物園が減っている現状
4. 動物園が果たす役割

4 番

会社で上司と女の人が残業時間を制限することについて話しています。

男：中野さん、今社内では残業を週 10 時間以内に制限するっていう話が出てるんだけど、中野さんはチームリーダーとしてどう思う？

女：そうですね。確かに会社全体で無駄な残業をなくすのは必要なことですが、なんでも時間で区切ってしまうというのは。うちは商品開発部という性質上、アイデアを膨らませたり、企画を練ったり退社時間を気にせず、集中したいっていう時がありますから。

男：現場としては、そうなんだね。

女の人が言いたいことは何ですか。

1. 会社が残業時間に制限をかけるべきだ
2. 残業が多いのは能率が悪いからだ
3. 残業しても結局疲れて集中できない
4. 仕事内容によっては残業が必要とされる

5 番

セミナーで林業の専門家が話しています。

男：日本は昔から、木の文化と言われていますが、近年では、木造住宅の建築に、外国の木材が多く使われています。価格が安く、種類も豊富な輸入木材に、国産が押されているわけです。しかし、雨が多い日本で育った木は、梅雨の時期や高温で湿度の高い夏でも腐らず、冬の乾燥でも変形しないなど、日本の気候に非常によく合っていて、長く使うことができるんです。百年前の木造の家だって、手入れすればまだ住めるほどです。もう一度、見直してもらいたいですね。

専門家は何について話していますか。

1. 日本人が木を好む理由
2. 木造の家の現象
3. 国産の木材の強み
4. 日本の森林の変化

問題 4

1 番

さっき、先輩に何言われたか知らないけど、気にすることないよ。

1. それは教えられない。
2. 心配してくれて、ありがとう。

3. 言われたこと、気にしてないの？

2 番

このラーメン、結構辛いね。見た目に反して。

1. そうは見えないのにね。
2. ほんとう辛そうだもんね。
3. 見た目からしてすごいよね。

3 番

社長が呼びかけです。至急お越しいただけますか。

1. じゃ、すぐ社長を呼んできます。
2. えっ？なんだろう。すぐ行きます。
3. すぐに電話するようにします。

4 番

あっ、お久しぶりです。こんなところでお会いするとは……

1. ほんとう偶然ですね。
2. 会いに来てくれたんですね。
3. それなら、ほかのところにしましょう。

5 番

道、渋滞してますね。新幹線の時間、間に合えばいいですけど。

1. 間に合ったんだから、いいですよ。
2. 新幹線、行っちゃったんですか。
3. ぎりぎりかもしれませんね。

6 番

ねえ、田中君が大学やめるなんて、ほんとううそみたいだね。

1. わたしも驚いた。
2. よかった。やめないんだね。
3. 田中君がうそついたの。

7 番

ゼミの松田君、留学に備えて、毎日語学学校通ってるんだってよ。

1. 留学のあとずっと？すごいね。
2. ちゃんと留学の準備してて、えらいね。
3. 留学中、毎日勉強してるんだね。

8 番

プレゼンの内容、これでいいか。このあと、課長にも見てもらわないとね。

1. じゃ、わたしが課長に確認しておきます。
2. どうして課長に見てもらえないですか。
3. よかった。課長もこれでいいんですね。

9 番

昨日、転職した元同僚に会ったんだけど、なんか生き生きしてたよ。

1. ああ、また会社に戻ってくるってこと？
2. 何で迷ってたの？
3. 充実してるってことじゃない。

10 番

最近、社長が何でも新しいことやりがるから、困るよね。

1. えっ、だから社長困ってるの？

2. 次から次へじゃ、大変だね。
3. もっとチャレンジしてほしいのにな。

11 番

味もボリュームも、ステーキはこの店に限るね。

1. それじゃ、ほかの店にしようか。
2. ああ、ステーキは限定メニューなんだね。
3. やっぱここステーキじゃないとね。

問題 5

1 番

男の留学生と女の学生が話しています。

男：ねえ、松本さん、松本さんって、観光ガイドのアルバイトをしているよね。

女：うん。

男：来週、家族が日本に来るんだけど、何か、日本らしい体験ができるところない？両親の希望は、記念のものが手元に残って、日中は観光したいから、夕方4時以降がいいって、8歳の弟も一緒だから、子どもが飽きないのがいいんだけど。

女：それなら、陶芸教室は？茶碗とか、お皿とか作るの。陶器は焼くのに2、3週間かかるけど、後で国に送ってくれるよ。それから、布を染める教室もお勧め。スカーフを染めるんだけど、日本の伝統的な色を使うから、日本らしいお土産になるし、その日に持ち帰れるよ。

男：弟は工作が得意だから、茶碗とか作るの、好きそうだけど、布はどうか。前に国でそういうのをやったとき、退屈してた記憶が……

女：そっか。どっちも4時半開始だけど、陶器を作る教室は、郊外の桜町だから、行くまでに時間かかるんだよね。

男：桜町に4時半か。間に合わないだろうな。

女：それと、観光センターに行けば、日本料理と、それから茶道の教室も体験できるよ。

男：弟、日本料理、好きだよ。

女：だけど、料理は今昼間しかやってないんだ。お寿司とか作れて楽しいし、箸に名前を入れてプレゼントしてくれるから、すごく人気なんだけど。茶道のほうは、夜7時まで、1時間ごとに好きな時間で予約できるよ。お土産に和菓子もらえるけど、食べたら残らないね。四つの教室のどれかにするなら、私が予約するよ。

男：ありがとう。昼は無理だし、手元に何か残るっていう希望は聞いてあげなきゃ。弟が好みそうなほうだと、時間が心配だけど、まあ、その日だけ少し早く観光を切り上げてもらおう。

男の留学生はどの体験を選びましたか。

1. 陶器を作る
2. 布を染める
3. 日本料理を作る
4. 茶道をする

2 番

食品会社で、部下二人と課長が話しています。

男：課長、リンさん、すみません。ちょっといいでしょうか。今日3時から1時間ほど、課長とリンさんと私とで、北海道食品店の打ち合わせをすることになっていますが。

課長：ええ、中山さん、どうかしましたか？

男：あの、あした予定していた青木商事への納品が、急遽先方の都合で、今日になってしまいまして。それで、午後一番で青木商事に行かなければならないので、ちょっと3時半までに戻るのは厳しいかと。遅くとも、3時半には戻れると思うんですが。

課長：そう、じゃ、打ち合わせ、4時半からにしましょうか。

女：あつ、すみません。4時半からちょっと別件がありまして、15分前には出ないといけないんです。打ち合わせ、明日以降では、遅いでしょうか。

課長：それが、わたしが明日から急な出張で、一週間ほど留守にするんですよ。

女：それじゃ、今日中にしないと、1週間近く企画が止まってしまいますね。中山さん、納品の時間って、早められないんですか。

男：日程が1日繰り上がったので、これ以上早めると、準備が間に合いません。それに、先方から納品が遅くならないように言われていますので、後ろにずらすことも……

課長：じゃ、元の3時にして、中山さんは社に戻り次第、加わるってことでどう？

女：はい。中山さんがいない間、私の方から、現時点での作業状況とか、中山さんの担当の分もまとめて、課長に報告しておきます。

男：助かります。

課長：じゃ、そういうことでよろしく。

三人での持ち打ち合わせの日時はどうになりましたか。

1. 予定通りの日時で行われる
2. 今日時間を変えて行われる
3. 明日の同じ時間に延期される
4. 一週間後の同じ時間に延期される

3 番

ラジオを聞いたあと、男の学生と女の留学生が話しています。

ラジオ：毎年各地で開催されるちょっと変わったマラソン大会を四つご紹介します。お米の産地、北町の大会では、給水ポイントで、水だけでなく、おいしいおにぎりが味わえるそうです。ゴールしたときには、お腹いっぱいでしょうね。東町の大会はカレーです。こちらは食べながら走るのではなく、玉ねぎ、人参など、それぞれの畑を回って材料を収穫しながら、ゴールを目指すというものです。材料は持ち帰れるそうですよ。南町では、カメラをもって、海岸沿いの美しいコースを撮影しながら走ります。後で撮った写真のコンテストもあるそうです。最後は西町です。山道を走り、ゴールは山頂のお寺、500もの階段を登りきったところにあります。これは苦しそうですね。いずれの大会も、ただいま出場者募集中とのことです。

男：ねえ、リンダさん、国に帰る前にどれか出てみたら？いい思い出になると思うよ。

女：うん、楽しそう。

男：リンダさんは、カメラが趣味だから、海岸沿いを走るのがいんじゃない？走るほうはわからないけど、コンテスト優勝できるかもよ。

女：カメラ持って走るなんて、落としたらやだあ。わたし、足腰に自信があるから、階段を駆け上がるのにする。

男：おっ、すごいね。じゃ、ぼくは、野菜を収穫するやつに出してみよう。大会のあとでごちそうするよ。腕に自信があるんだ。

女：じゃ、その時はわたし、お米炊いて待ってるね。

質問 1

女の留学生はどこの大会に参加したいと言っていますか。

質問 2

男の学生はどこの大会に参加したいと言っていますか。



六 微信搜一搜

Q 日语轻松考